

● 1. ニコンの国際標準化活動（質疑応答） 追加質問可（2011-05-31 まで）

Q & A 追加（2011-04-20）

・標準化活動者へのインセンティブについて

Q. 標準化活動の担当者に対するキャリアパスとインセンティブは大きな問題だと思います。彼らは社内において何で評価されるのでしょうか。

A. 現時点では国際標準化活動について特に評価されることはありません。標準化活動が具体的な製品に結びつかないと難しいでしょう。

・研究室の活動について

Q. 行政機関や工業会であれば、各企業の情報を収集するのはそう困難ではないと思いますが、一企業が研究のためとはいえ他企業の情報を収集するのは大変ではないでしょうか。

A. インターネットや書籍を情報源としています。

Q. 各国間に働く政治力学や裏に潜む商取引の研究成果はどこかに発表されているのでしょうか。

A. 基本的には会社のための情報収集であり、外で発表することはありません。ただし、TC172の国内対策委員会に有用な情報は流しています。

・社内における標準化教育について

Q. 具体的な標準化教育について教えていただけないでしょうか。

A. 国際標準化活動については実践を通じた教育となります。ただし、事業活動とは離れた活動となるため、担当者のモチベーションを維持することも大切です。一般社員に対する教育はこれからの課題です。

Q. 金沢工大などで実施している標準化関連コースの利用については考えられるでしょうか。

A. 日本規格協会でさまざまな研修を行われていますので、それらへの応募は推奨しています。ただし、最近は人気が出てきているのでハズレて受講できなかったということも聞いています。金沢工大のコースは検討してみたいと思います。

・ドイツ（DIN）が提案しているデータベース標準について

Q. ビジネスと関係のあるデータベースの標準化は非常に危険な要素を持っていると思います。特に商取引に関わる項目は、提案者の利益に直接結びつく可能性が大きい。これについて、どのようにお考えでしょうか。

A. 非常に危険であると認識しています。たとえば、光学ガラスの評価方法は日本において企業毎に異なり一致していません。まして、ドイツの企業とも一致していません。データベースの項目としてある評価項目が特定企業（ドイツ企業）の試験方法に依存することになると、他の企業はその試験方法に合わせなければならず、それにより自社の評価が低下してしまう可能性もあります。”ガラスの軟化点”は、そのような項目の一つです。こうした項目が商品のカタログ特性として採用されると、サプライヤ企業への影響は大きく、ドイツ企業に有利に働くこととなります。

Q. SC3としてどのくらい関与できるのでしょうか。

A. SC3は光学材料を扱っており、それに関する項目はSC3に任せてほしいと主張し、ドラフトに盛り込むことができました。当初、TC172はドイツが幹事国なので、TC172に提案し、これまたドイツが幹事をしているSC1におろして審議を始めたため、気づくのが遅れました。今後、データベースの詳細に入っていきますので、その他のSCにも積極的に関与するよう働きかけていきたいと思っています。

・国際標準化活動について

Q. 研究室が設置されたというのは、通常の企業ではあまり聞かず、珍しい例だと思いません。やはり、標準化活動の実績が評価されたからでしょうか。

A. 標準化活動の実績もありますが、当時の社長の理解があったからだと思えます。

Q. 国際標準化活動は自社の利益を最優先としてやられているのでしょうか。

A. そうではありません。もともと国策会社であったこともあり、経営層には公共に奉仕するという意識があり、日本に貢献するという認識で活動しています。

自社のアドバンテージを第一に考えるという意識はありません。

追加分

Q. 貴社では、ISO 国際幹事業務を社内職制業務より優先して取り組むことを命じておきながら、評価することはないということだと理解しました。これだけからはパワーハラメントが行われているように思えてしまうのですが、もし私の勘違いならば、そのあたりのご説明があるとありがたく思います。よろしくお願いします。

A. 国際幹事業務は会社の業績(売り上げ、利益)に直結するものではなく、事業部門と同

様な基準での評価は出来ません。また共用部門としての評価も上位組織との関連が薄い場合は部門目標の上位目標からの連鎖を取り難く評価が難しくなります。したがって上位組織からの目標の連鎖で評価基準を決めることは出来ず、国際幹事業務部門独自の目標設定を行い評価することとなります。このとき同じ上位組織内の他部門との比較評価は難しく職務の重要度(職責)は別途上層部で決定しております。